布忍山永興寺略縁起

にハ、人王七十三代

のののなり、

にましましける、をれバにいますといへども、

をれバにを玉ひ、いとけなきより

に入となり、山にかくれわづかなるのをび、

のをしふて月をりをむかへま

しくけれバ、やがてのれ六を給ひけり、

のあり、ににを

とし給ひける、にいへらく、にのあり、く

【改丁】

ハのためをひんと、を

てれける、りを山の山にいり

をこるに、の間にの、のひをなし

るにをしらず、ににをかたる、

をるに一のせずをせり、

に一・一、をして申さく、

のなるし、のにてせし

もけるとてに給ふ、りのの

ずといへり、にておぼえずまどろミけるに、かの

りていへらく、河内の、せしに

【改丁】

一をぜんとどもりをみ

たず、よつてもせずをずるに

、こゝにせり、ハをひとつての

にうつし一のをしへ、一の

しと、てにせかのをひあつめ、

河内にいたりこゝかしことしふに、の

としてにじ、しく

の人にあらず、きをに人にぶにて、

としいへらく、か不可、のくた

らむハにかによれり、ひとつのをるに

【改丁】

のこゝにたるなし、か通せし

、、にをせよという、わらハにひひ

て、ハなる人におはしますやとへバ、ハ

の、しらずや、く大をしを

せよ、をしの三のにんと、を

あらはしとがごとくにけり、よしをし

ひける、なゝめらすに三年五月より

し玉ひける、人王七十三代のなり、ハに

せをしひ、にをめふ、

の、にのをて、にの

【改丁】

をへ、に天王のをならべ、・・・

・仁王門・・・のにってを

ひ、つゐにののとなりにける、きを以て

に人をびしふ、其をしまでへし

めむためにをてとひけり、それより山を

にしをとしてつゐにとなづけハ七となりぬ、

ハいくそばくのありとども、ハにし、ハほろび、

のミにしてハ二、三のりけり、又人王九十代

の、しひ

へり、れどものためにほろぶ、こゝにせしより

【改丁】

のをひ、かかゝるにぶとども、

ののまでましましふに

じ御事也、になるをて

をにめひ、一のをし大のを

しり、で・・・・・・・

をしひて、のりにをこたりなし、

といヘるハのなれバ、、

といへるも人にず、のなれども、の

ににし給ふ也、に人王八十六代元年

ののに、よりせられしハの某と

【改丁】

いへるにぞにけり、に河内国とける、を

るに四百年ハとのミいひけり、れどものく

たらむといへるにちなミ、又ハのせしにか、

よりハともよびる、のひにと

いひふ、ハにせる、又といへる世に

せり、にしへにもへざりし、のを以ても

がたく、にもしがたしといへども、はしぐてのもて

あふかしめむためと也、時に元文のニとせの七日頃、河内の国布忍の里永興寺の方丈にしてこれをしるす、委ハ本縁起に有り　今略して是を記す